



シイタケ菌打ちイベント報告

下村 晴文

3月23日(土)にシイタケイベントが開催されました。数日前の天気予報では、雨の確率が高くて、担当者をやきもきさせていましたが、予想に反して当日は天候に恵まれ、快適な一日を過ごすことができました。申し込みのあった14家族(小学校1年生から6年生までの子供22人、保護者15人)とスタッフ37人、総勢74人の参加者が、ならやまのベースキャンプに集合しました。午前10時からの開会式では鈴木会長のあいさつ、作業内容や注意事項の説明があり、最後に全員で記念撮影を行い、さあ、午前中の作業開始です。まず、参加者をコナラ植樹グループとシイタケ菌打ちグループの2班に分け、スタッフの案内で山の中に入っていきます。

コナラの植樹では、事前に掘られた穴の中に子供たちが、ドングリから育てたコナラの苗木を植えていきます。バケツで真砂土を運んだり、支柱の竹を打ち込んだり、子供たちには大変な作業で、特に支柱を固定する紐の結び方は、簡単なようで難しく、何回もスタッフに聞いて挑戦していました。最後に名前を書いたプレートを取り付けて完了です。何年か後に自分が植樹し、成長したコナラの木をみるのが楽しみようです。



シイタケ菌打ちは、ホダ木にドリルであけた穴に駒菌と呼ばれるシイタケ菌を木槌で打ち込んでいく作業です。



1本のホダ木に20カ所前後の穴に駒菌を打ち込んでいきます。シイタケ栽培には、数百本のホダ木が必要ですが、収穫と食べるのを楽しみに、小さな子供たちも1人で何本もの菌打ち作業を行っていました。グループごとに交代しながら、午前中の作業を終了しました。

昼食は、ベースキャンプでスタッフが用意した豚汁やならやまで採れた野菜の天ぷらなど全員で楽しく食べることができました。

午後からは、山遊びとコースター作りです。山遊びは、急ながけをよじ登った先にある遊びの森で、木登り、ブランコ、ロープを使った丸太渡りなど、子供たちが自由に遊べる場所です。



また、ベースキャンプでは、径10cm前後の丸太を厚さ1cm前後に切り、スタンプやサインペンで彩色を施し、マイコースター作りをしました。

今日1日、今までに経験したことない作業や里山での山遊びなど満足そうな顔の子供たちでした。最後に、アンケートを書き、お土産にシイタケ菌が入ったホダ木をもらって終了しました。